3

呼吸困難の原因

1. 呼吸困難の原因

がん患者において呼吸困難の発生する頻度は46~59%と報告されている。肺がんの患者だけに限るとその頻度は増加し、75~87%となる。

がん患者における呼吸困難の原因は多様である。原因の分類として、①局所(心肺)における原因、②全身状態による原因に分ける考え方と、①がんに関連した原因、②がん治療に関連した原因、③がんとは関連しない原因に分ける考え方とがある。これらを表1にまとめた。

1 がんに関連した原因

がんに関連した原因のなかで、局所(心肺)における原因の主なものは、①肺内腫瘍(原発・転移)、②悪性胸水、③胸壁腫瘍、④心囊水、⑤上大静脈症候群、⑥主要気道閉塞(major airway obstruction;MAO)、⑦肺塞栓、⑧がん性リンパ管症、⑨気道感染症、⑩その他の種々の症候群が挙げられる。

また、全身状態による原因の主なものには、①貧血、②腹水、③肝腫大、④全身 衰弱に伴う呼吸筋疲労、⑤発熱、⑥不安、抑うつ、精神的ストレスが挙げられる。

2 がん治療に関連した原因

がん治療に関連した原因では、放射線治療によるものとして放射線肺臓炎がある。化学療法に伴うものとしては薬剤性肺障害*がある。

3 がんとは関連しない原因

がんとは関連しない原因では、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの基礎肺疾患によるものが最も多い。

(茅根義和, 松田能宣)

【参考文献】

- Chan K-S, et al. Palliative medicine in malignant respiratory diseases. Hanks G, Cherny NI, Christakis NA, et al eds. Oxford Textbook of Palliative Medicine, 4th ed, New York, Oxford University Press, 2010; pp1112-3
- Loganathan RS, Stover DE, Shi W, et al. Prevalence of COPD in women compared to men around the time of diagnosis of primary lung cancer. Chest 2006; 129: 1305-12

*:薬剤性肺障害を生じやすい抗がん剤

微小管阻害薬: ビノレルビン, エリブリン

アルキル化薬: シクロホス ファミド, メルファラン, ベ ンダムスチン

代謝拮抗薬: ゲムシタビン*, クラドリビン

抗生物質: ブレオマイシン*, ペプロマイシン

葉酸拮抗薬: ペメトレキセドトポイソメラーゼ阻害薬: イリノテカン**, アムルビシ

分子標的治療薬: ゲムツズマ ブ, イマチニブ, ボルテゾミ ブ, ゲフィチニブ, エルロチ ニブ, アファチニブ, オシメ ルチニブ, スニチニブ, サリ ドマイド, エベロリムス, テ ムシロリムス, クリゾチニ ブ, アレクチニブ

免疫チェックポイント阻害 薬:ニボルマブ ※間質性肺炎に対して禁忌と なっている薬剤

表 1 呼吸困難の原因 (緩和ケアの立場からの分類)

	局所における原因	全身状態による原因
がんに直接関連した原因	・肺球のの表別では、	・全身衰弱に伴う呼吸筋疲労がん悪液質症候群 腫瘍随伴症候群 ・血 液 貧 血 過料調症候群 ・横隔膜の挙上 横隔膜麻痺 大量腹水 肝腫大 ・発 熱
がん治療に 関連した原因	·外科治療 片肺切除 肺葉切除 ·化学療法 薬剤性肺障害 心毒性 ·放射線治療 放射線肺臓炎 放射線性心膜炎	・貧 血 ・ステロイドミオパチー (筋症)
がんとは直接 関連しない原因	・基礎肺疾患 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 気管支喘息 間質性肺炎 ・心疾患 うっ血性心不全 不整脈 肺塞栓	・不安,抑うつ,精神的ストレス ・パニック発作 ・神経筋疾患